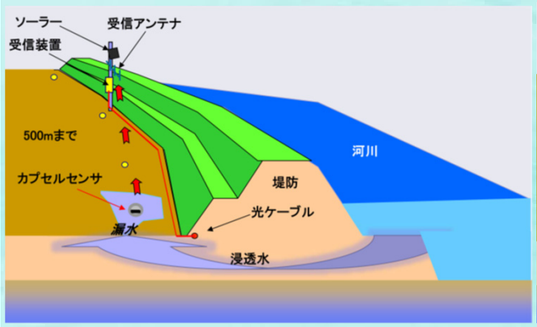
【特徴と機能】

1．無線機が堤防変状発生の時刻と場所を検知し、無線通報します。
2．カプセルセンサーは直径6cmと小型で、設置に土木工事は不要です。
3．無線機は安価のため、経済性に優れたシステムが構築できます。
4．無線機は個別にＩＤ情報を持ちますので、多数のセンサーを同時に埋設しても混信することなく使用できます。（7桁のIDを付与できます）
5．受信装置とセンサ間は見通で最大500m程度です。川幅が500mを超える場合は左右岸に受信機を設置します。
6．センサ内蔵バッテリー寿命は5年（参考値）です 。長期間信頼性のあるシステム運用ができます。
7．受信アンテナは高利得八木アンテナを使用を標準とします。
8．アンテナを2台使用し、上下流方向に振り分け、見通し約１ｋｍ区間を監視する構成も可能です。（オプション）
9．受信装置はソーラーで動作しますので、商用電源は不要です。
10．受信装置は、72時間駆動のバッテリーを内蔵します。
夜間・悪天候の日照不足時でも、バッテリーで監視が可能です。
11．検知情報をメールで通報するシステムもございます。（オプション）

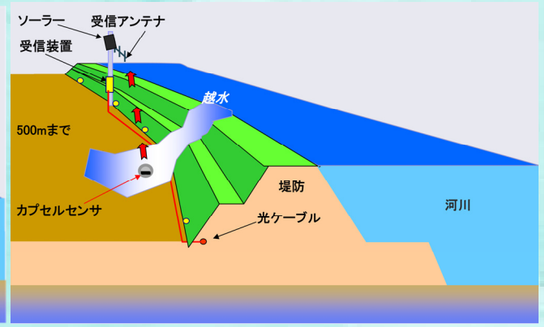
【適用場所】

・河川：越水、河岸侵食、高水敷洗堀、河床洗堀
・構造物 ：護岸、橋台、樋門・樋管等の構造物
・ダム：ダム湖堤防侵食　・砂防 ：崩落　・海岸 ：河口砂州、砂流出　・ため池：護岸
・道路：法面　・鉄道：法面

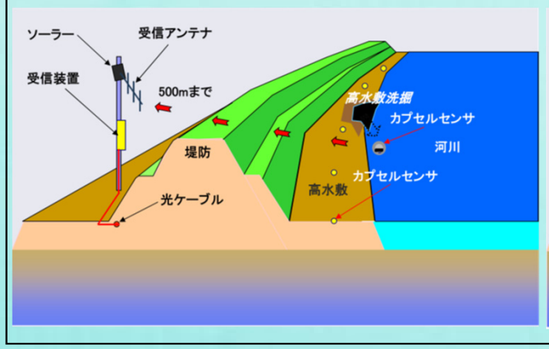
＜漏水検知＞
漏水の懸念がある場所に埋設します。



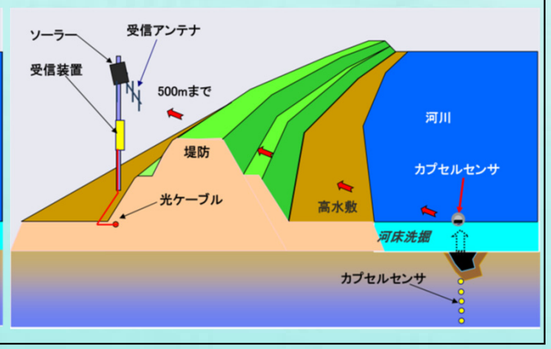
＜越水検知＞
越水の懸念がある場所に埋設します。
堤防天端や裏法尻への設置が有効です。



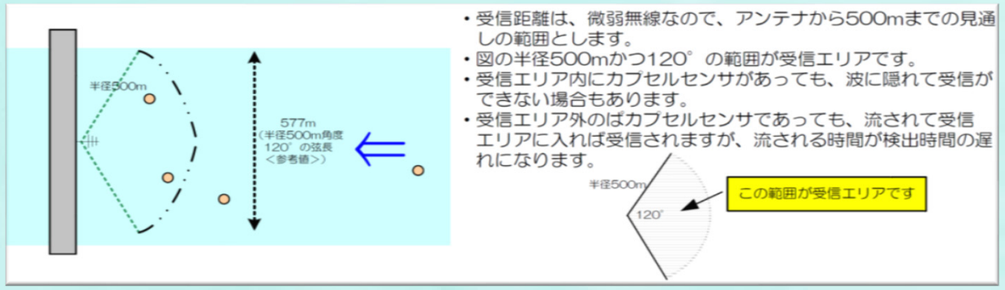
＜高水敷洗堀検知＞
河川の川形で高水敷洗堀が懸念される堤防防護ラインに埋設します。表法尻への設置も有効です。



＜河床洗掘検知＞
河川の川形で河床洗掘の懸念がある場所に埋設します。
カプセルセンサーは小型で浮力が小さいく設置が容易です。

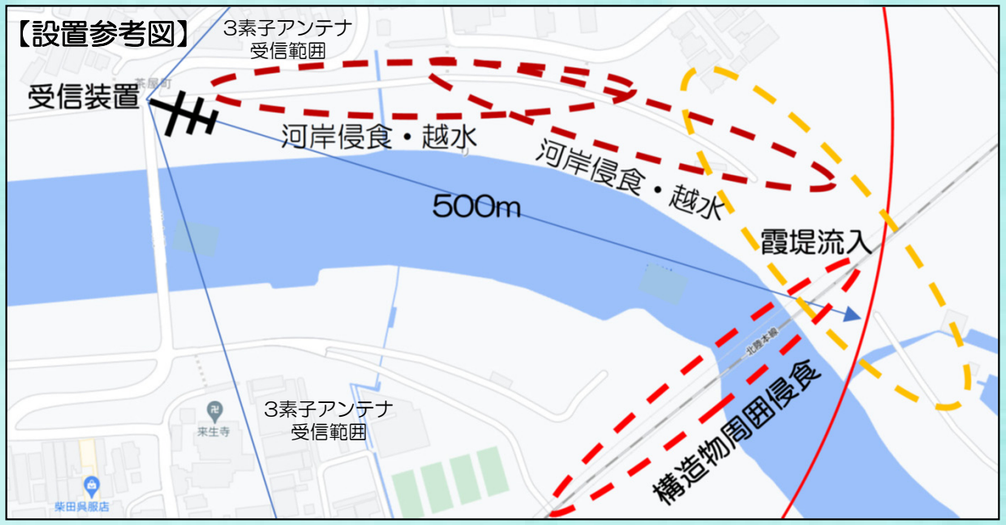
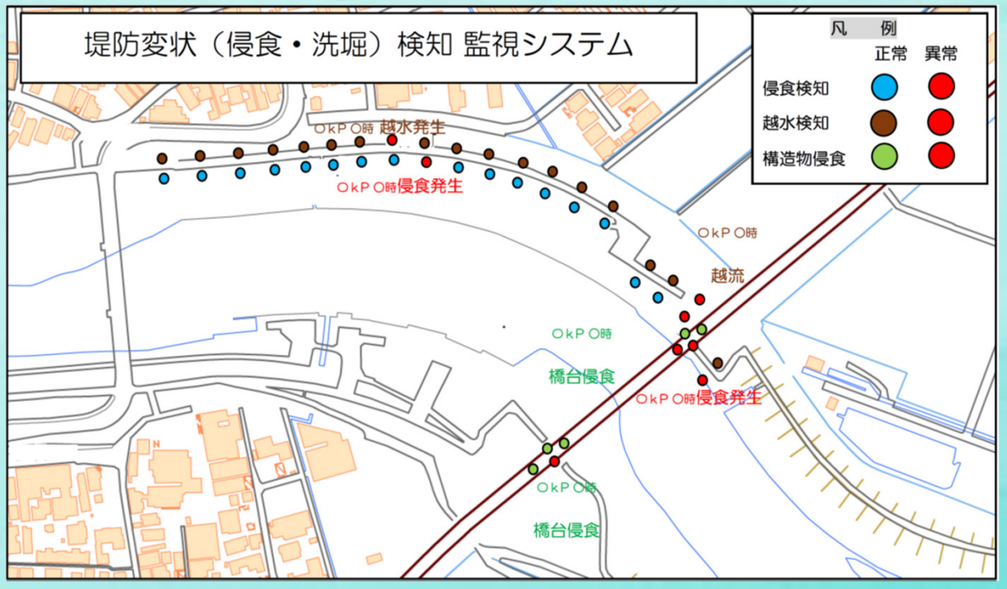


【センサの計測範囲】 500を超える川幅の時、左右岸に受信装置を設置します



【受信装置構成例】

1．受信アンテナは高利得3素子八木アンテナで、水平偏波の指向特性を左下に示します。受信エリアを広く確保するため、アンテナ指向方向を対岸30°に向けています。
2．センサは左右岸に設置できます。
3．設置参考図では、河岸侵食（越水）、霞堤流入、鉄道橋桁周囲侵食の監視を同時に行います。
4．受信装置はカメラ柱などを利用した設置が可能です。



【監視画面例】